

Xanthomonas manihotis由来の β (1-3)ガラクトシダーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1261

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 β -ガラクトシダーゼは、 β -ガラクトシドを単糖に加水分解する反応を触媒する加水分解酵素です。異なる β -ガラクトシダーゼの基質には、ガングリオシドGM1、ラクトシルセラミド、乳糖、さまざまな糖タンパク質が含まれます。

別名 β -ガラクトシダーゼ; ベータガル; β -ガル; EC 3.2.1.23; ラクターゼ; β -ラクタシダーゼ; マキシラク; ハイドロラク; β -D-ラクタシダーゼ; S 2107; ラクトザイム; トリラクターゼ; β -D-ガラクトナーゼ; オリザチム; スミクラット; β -D-ガラクトシド ガラクトヒドロラーゼ

製品情報

種	ザントモナス・マニホティス
由来	E. coli
形態	50 mM NaCl、20 mM Tris-HCl (pH 7.5 25°C)、および0.1 mM Na ₂ EDTA。
分子量	66 kDa
活性	17,000 ユニット/mg
濃度	10,000 ユニット/ml
特異性	GlcNAc(β 1-6)残基は、酵素の特異性に影響を与え、非還元性 β 1-4ガラクトースの切断を可能にする唯一のアノメリック構成です。
単位定義	1単位は、1 nmolのGal β 1-3GlcNAc β 1-3Gal β 1-4Glc-7-amino-4-methyl-coumarin (AMC) から95%以上の末端 β -D-ガラクトースを切断するのに必要な酵素の量として定義され、37°Cで1時間、総反応体積10 μ lで行われます。

保管・発送情報

保存方法 -20°Cで